新しい環境基本計画の骨子案(事務局素案)

第1章 計画の基本的事項

計画改定の趣旨、背景 計画の位置づけ 他の計画との関係

第2章 環境の現状と今後の課題

社会動向の変化 環境の現状 これまでの環境基本計画の成果と 今後の課題

第3章 計画の目標(めざす社会と環境の姿)

1 「循環」「共生」「安心」「協働」の四つのキーワードで表される次のような社会を形成することにより、「自然界における物質の適正な循環が確保・維持され、自然生態系が健全に保持された恵み豊かな環境を持つ愛知県(あいち環境社会(仮称))」を実現し、未来に引き継ぐこと。

物質が循環的に 利用されるなど 環境負荷の小さ な社会 (循環社会) 多様な生態系が 健全に維持され、 人と自然との豊かなふれあいが 確保された自然 と共生する社会 (共生社会)

大気、水、土地、 生物の恩恵にあ ずかる県民が安 心して生活ので きる社会 (安心社会)

地球的視野で環境を考え、県民、民間団体、事業者、行政が協働する社会 (協働社会)

あいち環境社会(仮称)

2 計画の期間 2015年度(目標は2025年頃を展望) (概ね5年経過後に全体の点検を実施するとともに、社会経済の状況や環境問題の変化に 応じて適宜見直し)

第4章 政策展開の方向

1 基本的考え方

持続可能な社会を創るライフスタイルの普及、浸透環境と経済の好循環の促進愛知万博の成果の普及、定着県民、民間団体、事業者等の自主的取組と協働の促進国や隣接県との連携と国際環境協力の推進

見直しの背景、内容等については付属資料1参照

2 施策の内容(計画の目的を具現化するための施策)

新エネルギーの戦略的展開等による脱温暖化の推進 資源循環型社会の形成 環境に配慮した機能的なまちづくり 健全な水循環の再生 生物多様性の保全 環境に関する安全・安心の確保 環境学習の機会の提供等による人づくり 環境の価値を評価、反映する経済活動の促進 国際協力の推進

見直しの背景、内容等については**付属資料2、3参照**

第5章 目標、計画の推進、進行管理等

【目標の設定】 第4章の施策体系ごとに、身近で分かりやすい数値目標を設定 【各主体に期待される役割】 県民・民間団体・事業者・市町村に期待される役割を明記 【計画の推進、進行管理】

個別計画の推進組織の活用、連携及び県内各地における意見交換会などの実施 環境づくり推進協議会、環境対策推進会議による計画の推進及び進捗状況の点検、環境白 書による進捗状況の公表及び新課題の提示

参考資料(主なもの)

審議経緯 委員名簿 県民意識調査結果 これまでの数値目標の達成状況 新しい計画の数値目標 環境に関連する愛知県の計画一覧